

ベトナムの大学生をインターンシップ第7期生として受け入れ

～グローバル化に対応する人材育成に取り組む～

チルド・フローズン食品輸送の南日本運輸倉庫株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：大園圭一郎 以下、当社）は、第7期生となるベトナム人大学生6名をインターンとして受け入れ、7月7日（火）に入社式とオリエンテーションを実施しましたので、お知らせします。



インターン生との集合写真

今回のインターン生6名は、水利大学の物流学科に在籍する3年生の男女です。これから1年間のインターンシップでは、当社の埼玉物流センターで、フローズン・チルド物流の現場実習に加えて座学で日本の物流基礎を学びます。また、日本語の習得や日本の文化・社会体験も実施します。

当社戸田本部で実施した入社式ではインターン生の自己紹介から始まりました。緊張した面持ちではありましたが、全員が日本で高度なロジスティクスを学びたいという強い意志が感じられる内容でした。その後、当社代表取締役社長の大園より当社事業の概要説明に加えて自身が社長就任時から大切にしている「初めてのことばかりで不安だと思いますが、まずはできることから取り組むことが大事。それを

極めていくことで自分にしかできないことになり、それが存在意義になる」という言葉を贈り激励しました。



代表取締役社長 大園の講話

その後、4名の社内講師から日本の物流事情や当社のミッション、強み、海外展開、就業規則などを説明、全員が真剣な表情で聞き入っていました。講義後は業務実習を行う埼玉物流センターに移動し、インターン期間中の注意点や施設の説明などを受け1年間のインターンシップをスタートさせました。

近年、当社は海外事業の強化を進めており、グローバル人材の育成は喫緊の課題と捉え、様々な採用活動・人材育成に取り組んでいます。外国人インターンシップの受け入れもその一環として2022年から行っており、これまで34名を受け入れ、今回の7期生で合計40名となります。

ベトナムは近年、生産国から消費国としての注目が高まっていることから、急速な経済成長を遂げ、輸出入が増加し物流需要が高まっています。そのような背景を受けて、当社は2020年に株式会社アプライズ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：岩堀 克英）とともに、物流人材育成を目的とした合併会社 MTLS VIETNAM LIMITED COMPANY（本社：ハノイ）を設立しました。この活動を高く評価していただき、複数の大学からインターン生を輩出していただけるまでに成長してきました。

当社はこれからも多様な人材がいきいきと働ける職場環境の整備を行うと同時に、グローバル展開に必要な人材育成にも積極的に取り組んでいきます。

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000048.000061803.html>

南日本運輸倉庫株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrp/company_id/61803